がくちか

私が学生時代に力を入れたことは、専門を転換し経済学の大学院への進学を果たせたことです。学部時代に看護学を学んでいた私は、病院での実習中に多くの非効率な状況に直面しました。これらの課題を根本的に解決するため、経済的な原理の理解が必要だと感じ、経済学の大学院への進学を決意しました。今までの専攻と大きく異なる経済学の分野への転換は容易ではなく、特に数学の基礎が必要であったため、インターネット上の教材や動画を活用して基本から学び直した上で、教員や先輩に積極的に質問し、分からない箇所を徹底的につぶしました。上記の工夫を通して、効率的に学習することができ、無事大学院に合格することができました。上記のこの経験から、長期的な計画を立て、粘り強く困難に立ち向かう心と未知の分野への適応力を培うことができました。今後のキャリアの中でもこの力を活かしていきたいと考えます。

自己PR  
私の強みはリーダーシップがあるところです。この強みは、大学院時代に留学生サークルに所属し、就職活動関連のイベント企画・開催に携わった経験から培われました。留学生向けの就職支援の一環として毎年行われるこのイベントでは、留学生からの参加意欲が低いという課題に直面しました。この課題を乗り越えるために、私はまず周りの留学生の意見をヒアリングし、参加意欲を上げるカギはイベントの内容と宣伝方法にあると発見しました。また、チーム内でのコミュニケーションの架け橋として積極的に関わり、各メンバーが得意とする分野に基づいてコンテンツ作成と宣伝担当の2チームに分けた上で、定期的な打ち合わせ会を開催することでイベントの準備を進められました。結果として今まで一番参加者が多いイベントを開催することができました。この経験から、チームワークの中で合理的にリソースを配置することで最大限な成果に繋がると学びました。